1 株式会社ヨークマート

	各社の考え方
□算定を行う背景・目的	● サプライチェーン全体からのCO2排出量を把握するため。
□算定結果の活用方法	● 算出の結果見えた課題に対して対策をとり、CO2排出量の削減とともにコスト削減につなげる。 ● セブン＆アイ・ホールディングスの「CSRレポート」内での開示や、社外からの環境調査票への回答に使う。
□算定のメリット	● 自社の排出分にとどまらず、サプライチェーン全体でのCO2排出量を把握することができる点。 ● カテゴリー別の内訳を見ることができるため、排出が多い箇所がわかる点。
□社内の算定体制	● CSR部門である「企業行動委員会」が関連する部門から必要な情報を入手し、算定した。

株式会社 ヨークマート

	各社の考え方
□ サプライチェーン排出量の削減に向けて	● カテゴリー1「購入した製品・サービス」からの排出量が大きいため、お取引先とともに削減活動を進めていきます。
□ サプライチェーン排出量算定の課題	● 実際の排出量を把握することが難しい項目があります。こうした項目については、支払金額から算出したり、サンプル調査から算出したりしました。
□ その他（任意）	● お客様とともにレジ袋使用量を削減するため、レジ袋をご辞退いただいたお客様にはお買い上げ金額から2円を引いています。

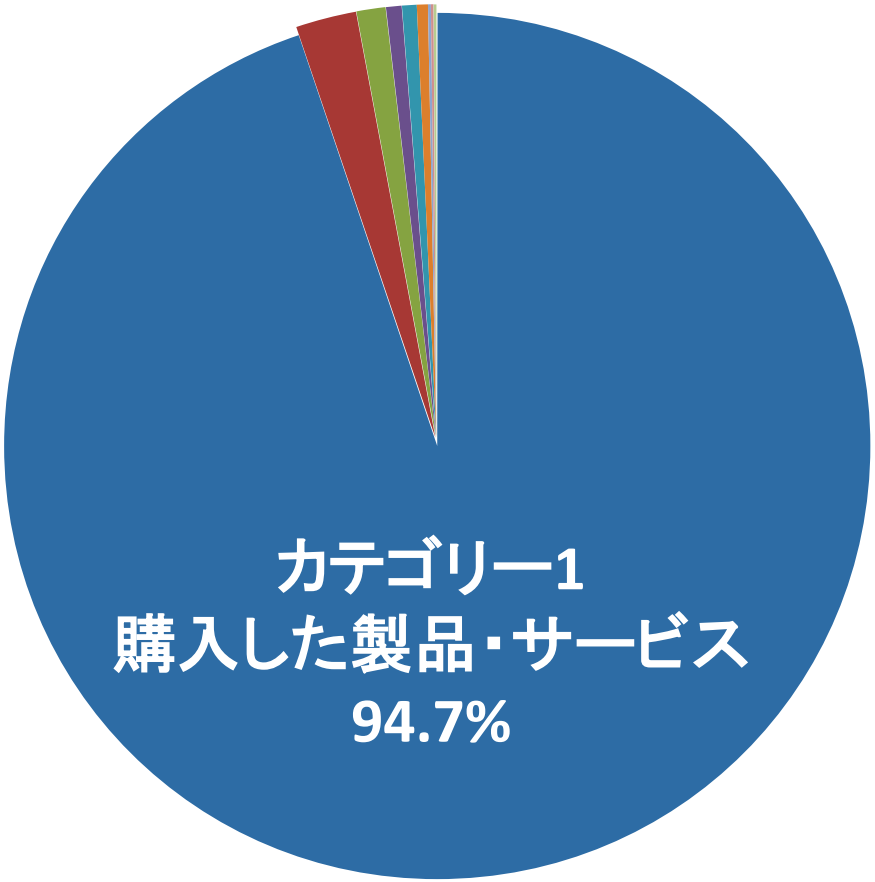
3 株式会社ヨークマート

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 商品種類別の仕入れ原価	● 3EIDベースの金額当たり原単位
カテゴリ2「資本財」	● 設備投資金額	● 3EIDベースの金額当たり原単位
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● エネルギー使用量	● エネルギー量あたり原単位
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 燃料使用量	● 燃料あたり原単位
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量	● 廃棄物種類別原単位
カテゴリ6「出張」	● 交通費支給額	● 交通費支給額当たり原単位
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 交通費支給額	● 交通費支給額当たり原単位
カテゴリ8「リース資産（上流）」	対象外	
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● 輸送金額	● 3EIDベースの金額当たり原単位
カテゴリ10「販売した製品の加工」	対象外	
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● PBのLED電球の販売点数 ● 肌着商品の洗濯回数	● 点灯時のエネルギー消費量×製品寿命 ● 洗濯一回に関わる重量当たりの排出量 ※衣料品売上高からの推計
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 廃棄物排出量 ※商品種類別の仕入れ原価からの推計	● 廃棄物排出量当たり排出量原単位
カテゴリ13「リース資産（下流）」	● テナントのエネルギー使用量	● エネルギー量当たり排出原単位
カテゴリ14「フランチャイズ」	該当なし	
カテゴリ15「投資」	対象外	

株式会社 ヨークマート

4

算定結果



カテゴリー1	購入した製品・サービス	94.7%
カテゴリー2	資本財	2.3%
カテゴリー3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	1.1%
カテゴリー4	輸送、配送（上流）	0.6%
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	0.5%
カテゴリー7	雇用者の通勤	0.4%
カテゴリー11	販売した製品の使用	0.1%
カテゴリー12	販売した製品の廃棄	0.1%
カテゴリー13	リース資産（下流）	0.1%
カテゴリー9	輸送、配送（下流）	0.1%
カテゴリー6	出張	0.01%